

特別史跡加曽利貝塚の発掘調査成果を速報発表！ ～平成29年度千葉市遺跡発表会開催のお知らせ～

半世紀ぶりに本格的な発掘調査を実施した特別史跡加曽利貝塚の発掘調査成果の速報をはじめ、平成29年度に市内で実施した遺跡の発掘調査や出土資料の整理作業の成果について、3月17日（土）に発表会を開催しますので、お知らせします。

1 趣旨・目的

市内の豊かな歴史とその魅力を伝えるため、遺跡の発掘調査や出土資料の整理作業の成果を紹介し、市民が本市に愛着と誇りを持てる環境を育むことを目的に開催します。

今年度は、昭和47年以来、半世紀ぶり（45年ぶり）に本格的な発掘調査を実施し、縄文時代晩期の竪穴住居跡や精巧なつくりの耳飾りなどが見つかった加曽利貝塚の調査成果についての速報をはじめ、平成29年度に市内で実施した遺跡の発掘調査や出土資料の整理作業の成果の発表します。

また、今年度の加曽利貝塚の調査成果について理解をさらに深めてもらうとともに、加曽利貝塚の魅力と重要性を伝えるため、「房総の縄文時代後晩期と加曽利貝塚」をテーマとした講演を行います。

2 実施概要

(1) 開催日時

平成30年3月17日（土） 10:30～16:30

(2) 会場

千葉市民会館 地下1階 小ホール（中央区要町1-1）

(3) 参加者

約300人

(4) 申込方法

当日受付（事前申込不要）、参加費無料

(5) 構成

別添「平成29年度千葉市遺跡発表会スケジュール」のとおり（2頁参照）

3 関連展示

(1) 会場での展示（発表会当日）

市民会館小ホール前のロビーにて発表遺跡の出土遺物と写真・解説パネルを展示します。
展示スペースに学芸職員が常駐し、展示解説を行います。

(2) 加曽利貝塚博物館での速報展示「特別史跡加曽利貝塚発掘速報展」

開催期間 平成30年3月10日（土）～5月27日（日）

開催場所 千葉市立加曽利貝塚博物館（若葉区桜木8-33-1）

※遺跡発表会当日は、一部資料を市民会館に移動して展示します。

平成29年度千葉市遺跡発表会スケジュール

時間	発表タイトル等	発表者等	備考
10:30～10:40	開会挨拶		10:00 開場
第1部 市内の遺跡の発掘調査・整理の成果発表			
10:40～11:15 (35分)	「千葉市動物公園の旧石器時代人」 餅ヶ崎遺跡 (若葉区源町)	尾崎 沙羅 埋蔵文化財調査センター 嘱託研究員	
11:15～12:00 (45分)	「5世紀に開かれたムラ」 古山遺跡 (若葉区桜木2丁目・加曽利町)	小林 嵩 千葉市教育振興財団 主事	
12:00～13:00	昼食休憩		
13:00～13:45 (45分)	「小さな遺跡からわかること」 種ヶ谷津遺跡 (中央区生実町) ほか	長原 亘 埋蔵文化財調査センター 主任主事	
第2部 加曽利貝塚の調査研究成果発表			
13:45～14:45 (60分)	「特別史跡加曽利貝塚発掘調査速報」	松田 光太郎 埋蔵文化財調査センター 主任主事	
14:45～15:00	休憩		
15:00～16:30 (90分)	【講演】 「房総の縄文時代後晩期と加曽利貝塚」	菅谷 通保 埋蔵文化財調査センター 嘱託主任研究員	
16:30	閉会		17:00 閉場

【発表・講演のポイント】

- 「千葉市動物公園の旧石器時代人」 餅ヶ崎遺跡 (若葉区源町)
現在、動物公園になっている餅ヶ崎遺跡は、市内を代表する旧石器時代の遺跡のひとつです。調査報告書を取りまとめる中で見えてきた、本市の歴史の始まりの頃の自然環境と人々の暮らしのようすを紹介します。
- 「5世紀に開かれたムラ」 古山遺跡 (若葉区桜木2丁目・加曽利町)
加曽利貝塚に近い古墳時代中期の集落跡で、住居跡から全国で3例目となる甲冑が出土しました。なぜ住居跡に甲冑が埋められたのか、謎に満ちた発見を紹介します。
- 「小さな遺跡からわかること」 種ヶ谷津遺跡 (中央区生実町)・西花遺跡 (中央区大森町) ほか
小さな発掘の積み重ねから、千葉市の歴史が解明されていきます。平成29年度に実施した発掘調査のうち、古墳時代から奈良時代の大規模なムラの一画を調査した種ヶ谷津遺跡、今まで知られていなかった前方後円墳が新たに発見された西花遺跡などを紹介します。
- 「特別史跡加曽利貝塚調査速報」
約半世紀ぶりに行われた加曽利貝塚の発掘調査で、何が見えてきたのか、また、どのような課題があり、今後の調査・研究でどのように解明していくのかなど解説します。
今回、一部発掘した縄文時代晩期の住居跡は、県内でも事例が少ない貴重なもので、晩期に至るまで加曽利貝塚が県内を代表する大集落であったことが明らかになりました。
- 講演「房総の縄文時代後晩期と加曽利貝塚」
縄文時代後期、房総半島では貝塚形成がピークを迎え、晩期に入るとやがて終わりを迎えます。「器をつくる」、「家をたてる」「村にすむ」、「堤を築く」という4つのキーワードから、房総半島の縄文時代後晩期の特徴と、加曽利貝塚の特質をわかりやすく解説します。